

④【あいみ手間山地域振興協議会】


発表テーマ：「グリーン&エコツーリズムの取り組みについて」

～あいみ手間山地域振興協議会～

米子市に隣接する旧会見町の中心地。水稲を中心とした田園地帯。地域内に小中学校、保育園、町立図書館がある。寺内地内にある大国主命ゆかりの赤猪岩神社は有名。

○あいみ手間山地域振興協議会
 事務所: 介護予防拠点施設交流会館
 設立: 平成19年6月30日

【集落数: 10】
 人口 2,520名
 世帯数 860世帯
 高齢化率 31.6%
 (平成27年11月末現在)



《 質 疑 回 答 一 覧 》

No.	質疑	回答
1	てま山農園の入植者の選定や募集の方法について教えてください。	入植は誰でもでき、自分の作りたい面積が借りられます。また栽培方法も教えます。募集は協議会の広報などや情報発信コーナーでも随時お知らせしています。
2	入植者の募集方法は？募集対象地域は？	募集は協議会の広報などや情報発信コーナーで随時お知らせしています。募集地域は協議会エリア内としていますが、情報を入手された米子市の方も居られます。
3	てま山農園に参加できるのは町民のみでしょうか？全く農業体験をしていない都会や市部に住む人は関心が高いのではないのでしょうか？	あいみ手間山地域振興協議会エリアとしていますが、町外の方も参加は可能です。
4	てま山農園だけでなく区民農園もPRしては？（三崎、宮前一、田住などもある。）	区民農園は集落独自で営んで居られ、作物の栽培管理等の情報は区民農園にも提供しています。
5	てま山農園のねらいとする対象者は誰か？町外交流？異世代交流？農地問題？	農園のねらいとする対象者は、あくまで農家と非農家の交流拠点であり、子どもから大人までの世代間交流が主眼で、この事業を通じて食育・交流・ふれあいが盛んになり賑わいを期待しています。
6	てま山農園の日常的な管理はどうされているか？その費用は？	日常の管理は、土日の午前中に事務局、ボランティア、総務企画部・ふれあい部の有志が実施。費用は、主に事業費から支弁、急な場合は会長が提供しています。
7	「できる人が、できる時に、できることで」日常の管理作業の人が固定化してはいないのか？不満のようなものはないですか？	日常の管理が一部固定化するのには、やむを得ないが休憩の楽しみで解消しています。
8	野菜づくりを南中学生徒も取り組んでおられるようですが、ただ単に生徒が取り組んでいるのか、あるいは学校行事等となっているのか？	南中学生徒の取り組みは、地域貢献活動の一環の「ふれあいデー」として、学校側から受入れ要請がありました。

《 質 疑 回 答 一 覧 》

No.	質疑	回答
9	中学校との協働事業はなかなか難しいと思いますが、どのように働きかけをされましたか？何かエピソードがあれば教えてください。	南中との係わりは、南中主催の年2回の防災訓練・コミュニティスクール参画・土曜開校への協力、後輩へのメッセージなど教育環境の整備に連携しています。
10	玉ねぎの収穫体験に来た人と、日常管理に携わってくれた人との人数のギャップはどれくらいありますか？管理作業を手伝ってくれる人を増やすための工夫は？	収穫体験と日常管理に携わった人数のギャップは3倍強です。今後手伝ってくれる人を増やす工夫は、人的つながり、賛同者など機会あるごとに募りたいです。
11	収穫した玉ねぎの活用方法は？	収穫体験で来られた人が全部収穫されますが、残った場合は高齢者・独居世帯に配付します。
12	農園を増やしていく考えですか？	農園の規模(20a)はこれ以上増やしません。
13	耕作放棄地は協議会で目をつけたところに交渉したのか。それとも、貸したい側が手をあげてくれて確保できたのか？	農園を開園した耕作放棄地は、県道沿いで住民に分かりやすい場所にあり、農業委員会に相談して特定農地貸付により借用できました。もちろん地権者の方々には主旨を理解して頂いた結果です。
14	てま山農園の活動の波及効果を教えてください。	農園の活動の波及効果は、「大地に学ぶ」をマスコミで取り上げられたが、住民には関心がうすく、今後は採れた食材を活用したイベントを企画し、賑わい交流に繋がりたいです。
15	トレッキングコースの「自然体験ゾーン」にはどのようなものがあるか知りたい。	トレッキングコースの「自然体験ゾーン」は、現在は絶景地ポイントから眺める景色と植物観察であるが、今後の企画として「雑木林を歩く」「落ち葉のベッド」などを考えています。
16	赤猪岩さんを核とした手間山有効活用をどうお考えか？	赤猪岩神社と手間山は一体的な観光スポットなので、復路のトレッキングコースを創るなど往路・復路の2種類のコースを考え、赤猪岩神社に直接下山することを考えています。
17	町内唯一の“パワースポット”赤猪岩神社のスタシの木、タブの木との合体、一人ずつ撮影してアルバム帳に並べて貼ると“結婚”できる樹と言う。発信をどう？	「比翼連理の木」といわれ、パワースポットとして紹介されています。
18	交流拠点の一番手に天津とタイアップされ、散策ツアーを企画されたら嬉しいな♡	天津とタイアップした散策ツアーは、大国主命が再生復活された清水井もあり、合同企画の実現に向けて検討します。
19	エコツーリズムの今後の展開、予定を教えてください。	エコツーリズムの今後の展開は「自然体験ゾーンの新設」「往路・復路のトレッキングコース新設」遊歩道に椅子設置など自然木を使用した物づくりを検討します。
20	エコツーリズムは、町外からの人を呼び込むことなども考えているか？プランがあるか？	町外から人を呼び込むことは考えていませんが、口コミで町外の参加者もあります。トレッキングコースは勿論、周辺環境が整備されたら町内外に情報発信も考えています。
21	エコツーリズムを持続させていくには何が大切だと思いますか？	「自然を楽しむこと」に共感してくれる人を募り、自主的参加者が増える魅力ある自然環境の整備に努めることではないでしょうか。
22	エコツーリズムにおける当初の参加者は継続されていますか？	当初の参加者は継続参加されており、この事業に共感される方々だと思います。今後は開催時期(春・夏・秋)の検討を考えています。
23	グリーンツーリズム・エコツーリズムでの収入は？	グリーンツーリズム・エコツーリズムとも収入は全くありません。
24	グリーンツーリズム、エコツーリズム、人と共に地域活動をつくり上げ、参加者みんなで過ごす時間はとても素敵な時間だと思います。計画を立て実施するまでに何回ぐらいの事前打ち合わせが必要でしたか？	事前打ち合わせは、部会で検討、役割分担を決める等2～3回実施していますが、事前準備等は事務局の役割が大きいです。

《 質 疑 回 答 一 覧 》

No.	質 疑	回 答
25	素晴らしい取組みの今後これからどのように外にPRをしていけますか？	外へのPRは具体的には考えていませんが、本事業が当初の目的を達成し、軌道に乗った段階で他協議会や近隣市町村にパンフレット等を配布していきたいです。
26	小冊子などを学校や米子駅等に配付したらどうですか？	学校等には小冊子の配布を、今後前向きに検討したいです。
27	行事の参加、関心度は？	行事の参加や関心度はやや低調であるが、住民の中には期待度が高い方もいらっしゃいます。
28	協議会活動への理解を住民に深めてもらうにはどうしたらよいか？	活動への理解を住民に深めてもらうには、住民ニーズを的確に把握し、各年齢層に合致した事業展開を企画し、実施にあたっては、時期・周知方法等を分かり易くPRしていきたいです。
29	住民の「あったらいいな」はどうやってその声をひろっておられますか？	「あったらいいな」の声？ 本協議会はⅡ期地域づくり計画書策定にあたり、集落からの声を吸い上げ策定、単年度では部会・区長会・評議会で地域からの声を聴いて事業活動に活かしています。
30	中高年の力が活かせる場は？	中高年の力が活かせる場は、見守り活動、伝統文化の継承、スポレク等事業内容によって参加・活動できる場面があります。
31	企業との関わりがよく分からなかった。どんな企業で、どんな支援を受けているのか？	企業との関わりはありませんが「サマーフェスティバルin手間山」ではエリア内の事業所等からゲームの賞品の提供を頂いています。
32	一般住民の参加が少ないようでしたが…。役員は請負事業になっているのでは？	役員は請負事業となっておりのご指摘ですが、事業実施日が必ず土日になり、他の各種団体の事業実施日と重複し、役員自ら率先して事業参加せざるを得ない状況にあり、今後各団体ととの共催を視野に入れて検討していきます。
33	各部のメンバーはどのように選ばれていますか？また、その人数、構成（男女比、年齢）は？	各部のメンバーは、各集落からの推薦でお願いしています。10集落なので各部10名、4部で合計40名の部員で構成しており、男女比はふれあい部は女性8割、他3部は女性2割程度で、平均年齢は55歳位だと思います。
34	様々なコンセプトを持って事業を展開しておられますが、参加者やスタッフに、そのコンセプトは伝えていますか？また伝えているなら、いつ、どのような形でつたえていますか？	コンセプトは、新年度に行なう新旧部員引継ぎ会、各部の第1回部会等で会長が説明しています。
35	米子市等からの移住につなげることは考えておられるでしょうか？ ・住宅敷地確保も可。 ・団地もあり若年層多い。 ・米子に近い。	ご指摘のように移住・定住の環境は整っていますが、私たち協議会自ら動くことはありませんが、移住等された方には、この地の良さを伝授させていただきます。

《 助 言 一 覧 》

No.	助 言
1	てま山農園は良いですね。ここに住む人が集い楽しむことが大切ですから、ぜひ、みんなでおいしく食べることを見せることも必要だと思います。
2	地域内の非農家も増加しているのでは。「てま山農園」で野菜づくりを体験していただいた成果を、自分の食べる野菜は自分で作るという次のステップに進めてはどうでしょう。町民農園など。
3	無農薬玉ねぎを商品化（例：ドレッシング）

《 助 言 一 覧 》

No.	助 言
4	<ul style="list-style-type: none"> ◦ちよこつと菜園というような小さな菜園の貸出しをしてみたらどうか。井戸水を掘って。 ◦要害山でクロスカントリーができるといいと思う。
5	手間山トレッキングコースで見られる木や草花の写真を載せた簡単なリーフレットを作っていたら嬉しいです。
6	樹木プレートをもっと充実させて欲しい。
7	雑木林を使った「住み家づくり」を親子で行なう。(簡易ツリーハウス)
8	天津地区の観光資源とタイアップし、例えば「歴史ロマンとグリーンツーリズムを楽しむ」をテーマに広い活動にしていかれたら如何でしょうか。
9	環境問題も一緒に考えるとより一層良くなるのでは？
10	地域イベントに子どもが参加するのは良い切り口だと思います。
11	「自治」への移行に必要なことは、まず地域の生活課題解決への取り組みだと思います。

《 助 言 一 覧 【町外から】 》

No.	助 言
1	野菜のおいしい食べ方、試食など一緒にあるといいと感じた。(たまねぎで血液サラサラとかの組み合わせがあるといい。
2	グリーンツーリズムとして地域外(米子市、境港市)に拡大されてはどうか？
3	<ul style="list-style-type: none"> ◦てま山農園を活用したコミュニティー作りはよいと思う。 ◦朝市etc. できないのか…道の駅等の地域力集中点を作っては？ ◦子育て支援は必要。
4	赤猪岩神社の伝説をモチーフにして「復活」「立ち上がる」「よみがえる」をキーワードに、お守りやお札などを作っては？ →話題をつくる、広げる。町外に知ってもらおう。
5	ブッポウソウに出会えるスポット、時期などを周知する方法を考える。
6	ブッポウソウのパンフレットをつくることを提案します。 ◦キャッチコピーを考えてみました。「ブッポウソウって何？」「ブッポウソウは草ではありません」「ブッポウソウってどんな意味？」など
7	山登りが好きな兄が「山がきれいになった」と喜んでいました。
8	地元ガイドさんの養成(手間のみに限らず)。センター設置。
9	行事が良かったとの話で終わらないで、何が良かったのか、又、何が問題があったのかを反省会を開き、次回につなげてください。
10	町内だけでなく町外の方にも参加ができるようなイベント等の発信ができればどうか。
11	うまく田舎の魅力を引き出しておられています。感心しました。これをどう発信しておられるのか聞きたいです。
12	鳥取県が行なっている「共生の里」に取り込むことを検討されてはどうか。 (農村と企業との連携事業)

《 学 んだ こと 一 覧 》

No.	助 言
1	「大地に学ぶ」基本フレームに元気もらいました。 「オセの背中をみせる」そのチャレンジへ前進を垣間見ました。 ⇒住民同士の交流が「発展」を見るガンバッテ！
2	中山間の荒廃地を利用した点と(課題解決)フレーズが素晴らしい。 「大地に学ぶ」「自然を楽しむ」
3	てま山農園を中心に子ども達とのふれあいを大切にしておられるのがとてもいい。
4	農園を地域の子供達との世代間交流の場として活用する発想はよい。この取り組みを今後も継続していただきたい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ◦各部連携による「手間山」の拠点づくりは素晴らしい。 ◦地域の宝を磨き上げる発想が良い。